

	頁
目次	
口絵	
序	
凡例	
細目次	
第一編 流 通	
第一章 愛知県の流通概況	3
第二章 流通機構の近代化と商品流通	35
第一節 流通制度の近代化	35
一 名古屋通商会社の設立と解散	35
(1) 設立の経過と会社概要	35
(2) 伊藤・関戸両家と会社	50
二 作良新田会所と豊橋商法会社	60
三 米会所と商品取引所	62
第二節 近代化の進展と流通資本	79
一 中央資本の進出	79
二 貿易地場資本の展開	94
第三節 主要商品の流通と組織	98
一 農水産物	98
二 繊維品	128
三 陶磁器・木材	135
四 石炭等	149
第三章 産業の発展と流通機構の変容	163
第一節 商工行政の展開と商業組織	163
第二節 インフラ整備と物流	176
一 名古屋港築港と物流の変化	176
二 運搬手段の変化と物流	185
第三節 都市化の進展と小売業	198
一 百貨店の展開	198
二 チェーンストアの開発と商店街の繁栄	211
第四節 主要商品取引	220
一 農水産物	220
二 繊維品	257
三 陶磁器・木材	268
四 石炭	301
五 重工業製品	309
第四章 戦時体制下の流通再編	323
第一節 物流機構の再編	323

一 物資輸送	323
二 運送業の企業整備	328
第二節 卸売・小売業の統制と整備	336
一 戦時商工行政	336
二 繊維品	346
三 日用品・食料品	357
第二編 金融	
第一章 金融市場の発展と動揺	391
第一節 草創期の金融市場	391
第二節 日露戦争後の金融市場	402
第三節 慢性不況下の金融市場	418
第四節 戦時体制下の金融市場	457
第二章 各種金融機関の形成と再編	463
第一節 国立銀行	463
第二節 普通銀行・貯蓄銀行	484
一 有力地方銀行	484
二 中小地方銀行・貯蓄銀行	588
第三節 特殊銀行	611
第四節 郵便貯金	619
第五節 信託会社等	637
第三編 交通	
第一章 愛知県の交通概況	651
第二章 陸上交通の発達と輸送	675
第一節 鉄道網の拡充と軌道の整備	675
第二節 道路運送・車両輸送の発達	762
第三節 道路の整備	774
第三章 水上交通の発達と輸送	783
第一節 港湾の整備	783
第二節 海運の展開	814
第三節 運河の整備と渡船	832
第四章 通信	841
第一節 草創期における通信事業	841
一 郵便改革と郵便創業	841
二 愛知県内電信創業と豊橋電信分局	850
第二節 近代的通信事業の形成と確立	854
一 汽船による逡送	854
二 地域における郵便電信事業の整備	856
三 電話交換局の開設と名古屋商業会議所	872
第三節 郵便・電信・電話事業の展開	877

一 請願電信・電話の制度化と地域	877
二 逓信事業の拡張と名古屋逓信局の設置	880
三 戦間期から戦時期にかけての展開と変容	882
解 説	891
あとがき	
資料提供者及び協力者	
愛知県史編さん関係者名簿	